

特
別
展

田 ん ぼ と く ら し



そだてて、
つくって、
つかまえて

7月19日^土
～
9月7日^日

会場 本館1階 特別展示室

開館時間 9:00～17:00(入場は16:00まで)

観覧料 博物館入場料でご覧いただけます(大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料)

休館日 7/22の火曜、7/28、8/4・18・25、9/1の月曜

主催 府中市郷土の森博物館運営グループ(公益財団法人府中文化振興財団・株式会社五藤光学研究所)



田んぼは何をしたらいい？ と聞かれたら、「お米をそだてるところ」という答えがかえってくると思うニャ。
ここ府中の南側・多摩川沿いの場所には、いまでも田んぼがあって、春から秋にかけてお米づくりが行われているニャ。でもむかしはそれだけじゃなかったニャ！

田んぼは水をぬけば畑になるニャ。また、用水路で田んぼと多摩川はつながっているから、川から魚がやってくるニャ。こうしたことからむかしの田んぼではお米づくりにくわえて、麦や大豆をそだてたり、魚をつかまえたりしていたニャ！

この展示会では、田植え機などが使われるようになる前のむかしのお米づくりの様子と、田んぼでのさまざまな仕事を紹介するニャ。そこから、田んぼという場所を上手に使っていたむかしの人の工夫を知ってほしいニャ。



左の写真はお米づくり、
麦づくり、魚とりに使った道具ニャ。
どれを何に使ったか、
線でつなげてみてニャ！
答えは下にあるニャ。

1

おしながら歩くと、
種がまける
麦づくりの道具。

2

田んぼの
なかにおいて、
ドジョウをつかまえる
魚とりの道具。

3

牛や馬にひかせて、
田んぼの土を
細かくする
お米づくりの道具。



わらの工作 つる 鶴をつくってみよう！

関連
イベント

わらを木槌で打ってやわらかくしてから、なわをなつて鶴をつくります。
日時 ● 8月10日(日)、31日(日) ①10:00～12:00、②13:00～15:00(1日2回)
会場 ● 本館1階 大会議室 対象 ● 小学5年生以上(未満の場合は保護者同伴)
参加費 ● 500円 募集人数 ● 各回20人
10日分が7月23日(水)から、31日分は8月15日(金)から
電話(042-368-7921)で先着順の受付
※博物館入場料が別に必要です

展示解説

日時 ● 8月16日(土)、8月24日(日)、8月30日(土)
14:00～(30分程度)
会場 ● 本館1階 特別展示室
※予約不要、博物館入場料のみ必要

アクセス

府中市郷土の森博物館

【路線バス】京王線・JR南武線「分倍河原駅」南側駅前ロータリーから
「郷土の森総合体育館」行きバス約6分「郷土の森正門前」下車すぐ
【府中コミュニティバス(ちゅうバス)】
● 京王線・JR南武線「分倍河原駅」または京王線「府中駅」から南町・四谷循環バス「よつや苑西」行き「南町二丁目」下車徒歩約6分
● 京王線「中河原駅」から南町・四谷循環バス「府中駅」行き「芝間稲荷神社」下車徒歩約6分
【徒歩】京王線・JR南武線「分倍河原駅」、JR武蔵野線・南武線「府中本町駅」、西武多摩川線「是政駅」より約20分

答え 代かきまぐわ・③、種まき器・①、ドウ・②

